

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture

Fourth

2023. Jun. 13

まいたる種は皆生える



最近の写真を何枚か。
表情豊かに聞いていたり学んだりしていることが分かる写真が多いですね。
そういえば、
「家で学校の事を話すことが増えました。」
お家の方からのお便りや電話で、こうした声を聞かせてもらうこともこの

2カ月で増えました。

とっても素敵な事です。

ちなみにこれは微笑ましいということだけでなく、「習ったことを家で話す子は賢くなる」という一つの学習の原理も存在します。

習った事をお家の人や友だちに話している子は自然と賢くなっていくのは、記憶の仕組みに合致しているからです。

記憶には、「知識記憶」「経験記憶」「方法記憶」の3種類があります。

教室でも伝えたので、Venture fourthでも簡潔に紹介します。

「知識記憶」とは、何かきっかけがないと思い出せない記憶の事です。学習で覚える事は、ほとんどがこれに当たります。

例えば、「小数のかけ算は、すべての数を整数に直してから計算する。」「日本海側は季節風の影響で雪が多く降る。」などの知識がそうです。

知識記憶は、もっとも忘れやすい記憶なので、時間がたてばよほどのことがない限り頭の中から消え去ってしまいます。

「経験記憶」とは、自分の過去の体験が絡んだ記憶の事です。

エピソード記憶ともいいます。

例えば、お母さんと散歩をしていて「あっ、つくしが出ているね」と話した体験の中で「つくし」という植物を覚えた記憶などをいいます。

経験記憶は、思い出や感情とセットで記憶されるため、知識記憶よりも強い記憶として頭の中に残ります。

当然、記憶として残る時間も長く、エピソードによっては一生覚えている場合もあります。

最後に「方法記憶」とは、箸の持ちかたや自転車の乗り方など、簡単に言うと体で覚える記憶の事です。

作業記憶とも言い、最も忘れにくい記憶だとされています。

人間の脳は覚えるより忘れる方が得意だと言われています。

脳には、約1000億個の神経細胞がありますが、もし目にしたものを聞いたもの全てを記憶したら、5分以内に限界に達してしまうそうです。

ですから、そうならないためにほとんどの情報は記憶しないで消されるのです。

つまり、今この通信を読んでいる間にも、無意識のうちにどんどん情報が忘れられています。

「2日前の晩御飯のメニューは？」と聞かれても、おそらく大方の人はすぐに答えられないでしょう。

これも、脳が限界に達してショートしないように「忘れる」働きをしてくれているからです。

先に書いた「知識記憶」もそうです。

放っておけば、忘れて当たり前。

だから、学校では定期的に復習をしたり、テストをしたりして頭にきちんと収まっているかを確認するわけです。

ところがこの習った事を、誰かに話すとどうなるか。

(子)「今日ね、こんなことを勉強して、こんなことがわかったんだよ。」

(親)「へ～そうなの！すごいねぇ。」

誰かに話して勉強の内容が整理されるだけでなく、単なる知識記憶が「お家の人に話して褒められた」という思い出とセットになって記憶されるわけです。

つまり、知識記憶の経験記憶化です。

ですから、習った事を話す子は自然と勉強した内容がすんなりと身につけていきます。

そして、できればそこに「成功体験」があれば言うことなしです。

「できた！」と喜ぶことは、自分にとってこれ以上ないほど嬉しい「思い出」であり、強い「感情」だからです。

お時間のある時は、ぜひお子様に学校でのことを尋ねてみて下さい。

聞き上手だったり、受け上手だったりする大人の方が身近にいることは、子どもたちにとって、とても幸せなことなのだと思います。

更に言うと、いろんなことを面白がれたり、喜びや驚きをもって学べるという力もとても大切なことだといえます。

冒頭の表情豊かな学びの写真を一目見て、私はこのようなことを感じていました。

4-1の子たちも、間違いなく「聴き上手」「学び上手」になってきているなあと確信しているところです。

(記憶の「方法記憶化」も授業の中で取り組んでいます、これはまた追って紹介していきます。)

ここまでの文章を読んで、SOLAN のホームページにある文章が浮かんだ方がいたら、とても嬉しいなあと思いながら筆を進めていました。

私自身、SOLAN に子供を通わせるいち保護者として、ホームページの中にある一つの文章がとても心に響いたことがあります。

それは、「QA コーナー」の中にある「受験対策について教えてください」という問いに対する答えです。

そこには、こう書いてありました。

親子でたくさんお話をし、一緒に絵本をたくさん読んでください。

自然にいっぱい触れさせてください。

私はこの文章を読んで、なんとも言えず心が温かくなりました。

そして、すでに知っていた3種類の記憶のことも脳裏に浮かびました。

きっと、教育の本質的な事は、それほど複雑なものではなくとてもシンプルな事なんだと思います。

ぜひこれからも、親子でたくさんお話をし、一緒に本や自然にたくさん触れてもらえたらと思います。

きっと、そうした日々の豊かな関わりによってまかれた種が、成長と共に素敵な花を咲かせていくのだと思います。(文責：渡辺道治)

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

